

鍼灸科

はり実技4

対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	45	単位	0
担当教員	小堀孝浩			実務経験	有	職種	鍼灸師				

授業概要

1年時に学んだ解剖学的知識を活かし、身体の筋肉、神経、関節部などに対する触診・刺鍼を学び、体得する。その技術を応用し、低周波鍼通電療法（以下、鍼通電療法）の方法と適切に評価する力を身につけることを目的とする。

到達目標

解剖学的知識を復習して、全身の筋肉や神経などをイメージしながら触診・刺鍼できるように修練し、低周波鍼通電療法の基本的な方法を習得することを目標とする。また、鍼通電療法の臨床現場での応用についても学ぶようとする。

授業方法

現代医学的な診察法の基本を復習し、鍼灸施術に活かすための診察の基礎を学ぶ。診察の仕方や評価法を練習し、体得する。提示された症例とともに、診察の模擬授業を行い、診察力と対応力を身につける。
※授業に臨むにあたり、予習・復習をすることが大切である。予習することによって、授業中にすぐ身体が動くように準備しておくこと、復習することによって、自分なりに振り返りや課題を見つけることが重要である。

成績評価方法

期末試験を中心に平常授業での態度、課題提出状況などを加味して評価する。

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。

教科書教材

担当教員が資料を作成し、毎回配布する。

回数	授業計画
第1回	肩上部の鍼通電療法②
第2回	頸部の鍼通電療法①
第3回	頸部の鍼通電療法②

第 4 回	肩甲間部の鍼通電療法①
第 5 回	肩甲間部の鍼通電療法②
第 6 回	肩関節部の鍼通電療法
第 7 回	復習の時間・臨床現場について②
第 8 回	前腕屈筋群の鍼通電療法
第 9 回	前腕伸筋群の鍼通電療法
第 10 回	上肢の末梢神経への鍼通電療法
第 11 回	顔面神経と顔面部への鍼通電療法
第 12 回	皮下結合織への鍼通電療法
第 13 回	下肢の末梢神経への鍼通電療法
第 14 回	関節部への鍼通電療法
第 15 回	腰痛

第 16回	腰痛
第 17回	腰痛
第 18回	腰下肢痛
第 19回	腰下肢痛
第 20回	腰下肢痛
第 21回	腰下肢痛
第 22回	腰下肢痛
第 23回	1年のまとめ・症例検討と実技